

# 介護ロボット等導入効果報告書

ユニット名 さくら・けやきユニット

|           |   |
|-----------|---|
| 事業実施年度    | 2018 年度   |
| 状況報告日     | 2019 年 3 月 31 日   |
| 介護ロボット等名称 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 床走行式リフト</li> <li>② モバイタルくん（介護ソフト）</li> <li>③ 介護支援ベッド</li> <li>④ モジュール型車椅子</li> </ul>   |
| 使用場面      | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 入居者の車椅子⇔ベッドへの移乗、ベッド⇔車椅子への移乗時に使用</li> <li>② 入居者の介護記録及び家族面会や体重測定記録記載時に使用</li> <li>③ 移乗介助や食事介助時に活用。排泄介助が必要な方に対してはリフトアップして使用</li> <li>④ 移乗や立ち上がり、足こぎが可能な方に対して使用</li> </ul>   |
| 目標達成度・効果  | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 入居者（利用者）・介助者共に介護負担を軽減することができた。<br/>装着等に多少時間を要するが、二人介助が必要な方を一人で行うことにより、もう一人のスタッフの時間を作ることができた。<br/>特にリクライニング型車いす→ベッドへの移乗介助に有効であった。<br/>安全面では、拘縮が強い方でもリフトやベッド等に当たるということもなかった。</li> <li>② 従来の紙ベースの場合、各ファイルからの出し入れや調べることに時間を費やしていたが、全てのデータがモバイタルくんから抽出できるため、事務作業時間の短縮につながった。<br/>紙ベースと比べて、保管量も大幅に少なくなり紙コストが軽減した。<br/>年輩のスタッフもスムーズに使用できていた。</li> <li>③ 初めはベッドをリフトアップする時間が手間に思われたが、その時間はどれくらいか？と考えると、さほど時間のロスは少なく、機能を活用することによりスタッフの負担が軽減できていた。</li> <li>④ 足こぎの方に使用し、フットレスに脛やふくらはぎが当たるともなかった。<br/>トイレ介助（移乗）の際には、アームレストを外せることで、抱え上げる場面（時間）が減少し、スタッフの介助負担も軽減することができた。<br/>移乗時にアームレストが当たる不安があったが、個々の身体状況に合わせることで安全なケアが行えた。</li> </ul> <p>その他、当法人の取り組み等については、</p> <p>鈴鹿グリーンホーム HP : <a href="https://suzuka-greenhome.jp/">https://suzuka-greenhome.jp/</a></p> <p>〈トップページ ▶ 「グリーンホームだより」からご覧ください〉</p> |